

「詢(まこと)のお別れ葬」:あなたの記憶を、最後の景色に。

「公詢社がお届けする、世界で一番温かいお見送りの形」

# 葬儀は「死を悼む場」から、「人生の集大成としての時間」へ。



私たちは、  
葬儀を単なる儀式とは  
考えません。

その方が  
「どう生きてきたか」という  
軌跡を形にする時間です。

決まった台本も、  
型通りのマニュアルも、  
ここには存在しません。

# 「公詢社」の名に込められた3つの決意



ご遺族としっかり言葉を交わし、その人生の真実を、嘘偽りのない心でお送りする。

# 「あるがまま」を叶える、詢（まこと）のお別れ葬のアプローチ

	従来の葬儀	詢（まこと）のお別れ葬
進行のベース	決まった台本・マニュアル	ご家族の「語り」と記憶
スタッフの役割	式の進行役	物語の伴走者・パートナー
式の形	決められたパッケージ	一人ひとりの人生に合わせた唯一の形

物語は、あなたの「語り」から始まります。



ご遺族が胸に抱く  
「あの人は、こんな人だった」という記憶の欠片。

それが、詢（まこと）のお別れ葬の  
唯一の道しるべです。

公詢社のスタッフは  
単なる進行役ではありません。

記憶を一つひとつ丁寧に拾い上げ、  
たった一度きりの形に整える  
「物語の伴走者」です。

一人ひとりに違う物語があるように、お別れの形も一つではありません。



海を愛した方へ：  
海辺で潮風を感じながら、  
好きだった音楽と共に。



静かな時間を好んだ方へ：  
ご自宅で、馴染みの家具に囲まれ、  
お茶を淹れるような穏やかなつどいを。




ゴルフに情熱を注いだ方へ：  
緑豊かなフェアウェイを望む場所で、  
最後の一打を想うお別れを。

悲しみを「感謝」へと綴り直す、  
世界で一番温かいつどい。

詢（まこと）のお別れ葬の「納棺のつどい」



コンセプト：「旅立つ人を整えることは、  
残された人の心を整えることでした」



「さよなら」の前に、伝えたいことがありました。

あわただしい日常の中で、  
伝えそびれてしまった言葉。

照れくさくて飲み込んでしまった感謝。

納棺のつどいは、  
そんな心の奥にある「詢(まこと)」の想いを取り出すための、  
静かな時間です。

「冷たい」はずの時間が、「温かい」記憶へ変わる。

## Emotional Transition Curve

1

喪失

悲しみと直面する。

2

触れ合い

安らかに整えられたお顔をみつめ、  
ただ、そばにいて手に触れる。

3

お仕度

ご家族の心で  
最後のお仕度を整える。

4

継承

故人様が遺してくれた温もりを、  
もう一度自分の手に受け継ぐ。



「あるがまま」の人生に、誠実（まこと）の彩りを。

公詢社は、その方らしい旅立ちの時間を、そっと支えます。  
あなたの心の中にある記憶を、最後の美しい景色にするために。

まずは、あなたの中にある  
「思い出」をお聞かせください。

---

事前のご相談・お問い合わせのご案内

[公詢社]

<https://kohjun.co.jp/> | 0120-18-4440

ご相談窓口はこちら